

IV 特別調査結果の概要（事業所規模1～4人）

1 概況

令和元年7月に調査した常用労働者数1～4人の事業所の給与、労働時間及び雇用の概況は、次のとおりである。

(1) 一人平均定期給与額（7月分）は194,571円で、前年より25,887円増となった。

また、特別給与（平成30年8月1日～令和元年7月31日）は220,700円で、前年より36,205円増となった。

(2) 一日の実労働時間は7.0時間で、前年より0.1時間減となった。

また、一人平均出勤日数（7月分）は21.2日で、前年より0.1日増となった。

(3) 常用労働者数（7月分）は16,052人で、前年より3,742人減となった。

表IV-1 令和元年毎月勤労統計調査特別調査結果の概要（事業所規模1～4人）

区 分	青 森 県		全 国		水 準 (全国=100)
	実 数	前年差	実 数	前年差	
1 給 与					
定期給与	194,571 円	25,887 円	197,196 円	1,720 円	98.7
特別給与	220,700 円	36,205 円	247,634 円	11,950 円	89.1
2 労働時間数及び出勤日数					
一日の労働時間数	7.0 時間	△ 0.1 時間	6.9 時間	△ 0.1 時間	
出勤日数	21.2 日	0.1 日	19.8 日	△ 0.1 日	
3 雇 用					
労働者数	16,052 人	△ 3,742 人	1,687 千人	△ 105 千人	

注) ① この特別調査では、指数を基にした前年比を算出していないため、前年差を記載している。

② 特別給与は、平成30年8月1日から令和元年7月31日までの1年間に特別に支払われた給与であり、単純に定期給与（令和元年7月分）と合わせて現金給与総額とはならない。

2 給 与

(1) 定期給与

定期給与額は、調査産業計では 194,571 円で、前年より 25,887 円増（全国は 197,196 円、前年より 1,720 円増）となった。全国平均を 100 とした場合、全国対比は 98.7 となった。

産業別にみると、製造業が 246,335 円（全国対比 111.5）と最も高かったほか、次いで建設業が 219,711 円（全国対比 84.7）と高かった。

また、宿泊業、飲食サービス業が 78,353 円（全国対比 73.0）と最も低かったほか、次いで生活関連サービス業、娯楽業が 151,988 円（全国対比 98.0）と低かった。

(2) 特別給与

特別給与額は、調査産業計では 220,700 円で、前年より 36,205 円増（全国は 247,634 円、前年より 11,950 円増）、全国対比は 89.1 となった。

産業別にみると、学術研究、専門・技術サービス業が 361,955 円（全国対比 96.3）と最も高かったほか、次いで製造業が 331,278 円（全国対比 123.3）と高かった。

また、宿泊業、飲食サービス業が 33,738 円（全国対比 105.4）と最も低かったほか、次いで生活関連サービス業、娯楽業が 74,747 円（全国対比 124.1）と低かった。

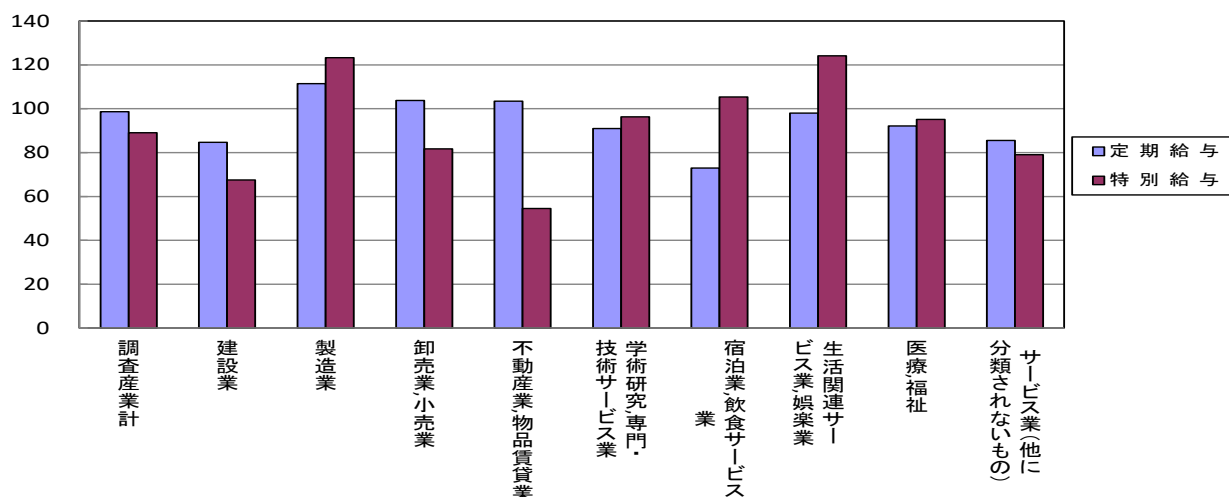
表IV-2 給与額の推移(事業所規模1～4人、調査産業計)

年	定期給与		特別給与		賃金水準(全国=100)	
	青森県 円	全 国 円	青森県 円	全 国 円	定期給与	特別給与
平成23年	170,613	187,962	176,354	191,014	90.8	92.3
平成24年	178,687	188,928	190,517	191,400	94.6	99.5
平成25年	172,562	190,474	164,191	201,806	90.6	81.4
平成26年	173,919	192,120	174,886	208,488	90.5	83.9
平成27年	178,579	191,269	194,372	216,965	93.4	89.6
平成28年	175,519	195,701	234,497	227,206	89.7	103.2
平成29年	171,679	196,363	185,207	227,457	87.4	81.4
平成30年	168,684	195,476	184,495	235,684	86.3	78.3
令和元年	194,571	197,196	220,700	247,634	98.7	89.1

表IV-3 産業別給与の比較(事業所規模1～4人)

区 分	定 期 給 与		全 国 =100	特 別 給 与		全 国 =100
	青 森 県	全 国		青 森 県	全 国	
	円	円		円	円	
調 査 産 業 計	194,571	197,196	98.7	220,700	247,634	89.1
建 設 業	219,711	259,417	84.7	181,110	268,198	67.5
製 造 業	246,335	221,021	111.5	331,278	268,750	123.3
卸 売 業 , 小 売 業	208,956	201,226	103.8	218,575	267,442	81.7
不 動 産 業 , 物 品 賃 貸 業	205,887	198,923	103.5	152,295	279,462	54.5
学 術 研 究 , 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	217,664	239,093	91.0	361,955	375,826	96.3
宿 泊 業 , 飲 食 サ ー ビ ス 業	78,353	107,290	73.0	33,738	32,002	105.4
生 活 関 連 サ ー ビ ス 業 , 娯 楽 業	151,988	155,071	98.0	74,747	60,255	124.1
医 療 , 福 祉	166,043	180,156	92.2	218,430	229,358	95.2
サ ー ビ ス 業 (他 に 分 類 さ れ な い も の)	182,690	213,590	85.5	255,256	322,961	79.0

図IV-1 産業別給与の全国対比(全国=100、事業所規模1～4人)



(3) 男女別給与

定期給与額は、調査産業計では、男性は255,658円で、前年(220,527円)より35,131円増となり、女性は144,065円で、前年(130,685円)より13,380円増となった。男性比は56.4で、前年(59.3)から2.9ポイント減となった(全国は男性比53.9で前年(53.7)から0.2ポイント増)。

産業別にみると、男性は、不動産業、物品賃貸業が360,921円で最も高かったほか、次いで学術研究、専門・技術サービス業が303,654円と高かった。女性は、製造業が244,598円(男性比98.8、全国49.2)と最も高かったほか、次いで学術研究、専門・技術サービス業が167,540円(男性比55.2、全国57.5)と高かった。

また、男性は、宿泊業、飲食サービス業が56,463円で最も低かったほか、次いで生活関連サービス業、娯楽業が213,916円と低く、女性は、宿泊業、飲食サービス業が82,165

円（男性比 145.5、全国 47.6）で最も低かったほか、次いで生活関連サービス業、娯楽業が 117,930 円（男性比 55.1、全国 60.3）と低かった。

男性比が最も大きい産業は、宿泊業、飲食サービス業が 145.5（全国 47.6）で、次いで製造業が 98.8（全国 49.2）となった。男性比が最も小さい産業は、不動産業、物品賃貸業が 45.9（全国 68.2）で、次いで医療、福祉が 49.6（全国 68.3）となった。

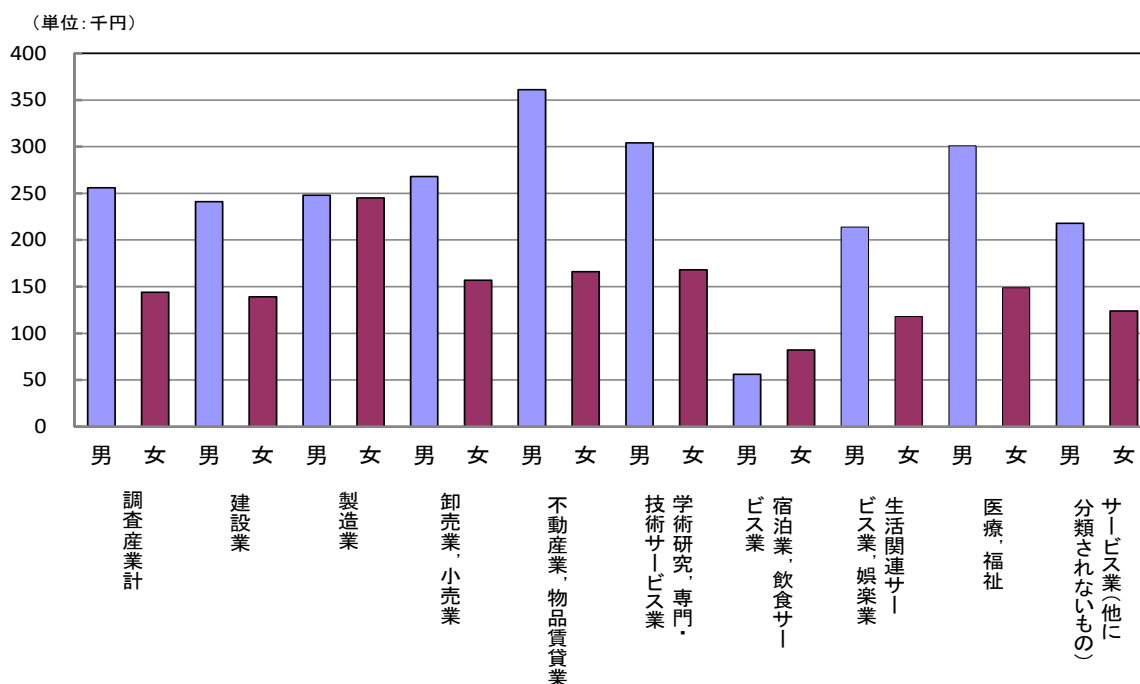
表IV-4 産業別・男女別給与(事業所規模1～4人:青森県)

区 分	定期給与		女性の水準 (男=100)	特別給与		女性の水準 (男=100)
	男	女		男	女	
	円	円		円	円	
調査産業計	255,658	144,065	56.4	310,482	139,813	45.0
建設業	241,029	138,775	57.6	210,487	56,058	26.6
製造業	247,659	244,598	98.8	385,461	260,016	67.5
卸売業,小売業	268,094	156,536	58.4	309,405	131,562	42.5
不動産業,物品賃貸業	360,921	165,829	45.9	187,715	143,143	76.3
学術研究,専門・技術サービス業	303,654	167,540	55.2	552,485	237,323	43.0
宿泊業,飲食サービス業	56,463	82,165	145.5	1,680	38,582	2296.5
生活関連サービス業,娯楽業	213,916	117,930	55.1	185,055	7,416	4.0
医療,福祉	300,628	149,184	49.6	317,428	201,472	63.5
サービス業(他に分類されないもの)	218,424	124,171	56.8	316,598	139,427	44.0

表IV-5 産業別・男女別給与(事業所規模1～4人:全国)

区 分	定期給与		女性の水準 (男=100)	特別給与		女性の水準 (男=100)
	男	女		男	女	
	円	円		円	円	
調査産業計	267,776	144,390	53.9	362,118	159,131	43.9
建設業	293,042	158,982	54.3	308,979	145,253	47.0
製造業	276,318	136,048	49.2	370,870	112,164	30.2
卸売業,小売業	273,509	145,933	53.4	413,858	151,337	36.6
不動産業,物品賃貸業	234,100	159,640	68.2	348,856	202,493	58.0
学術研究,専門・技術サービス業	323,185	185,990	57.5	486,912	302,092	62.0
宿泊業,飲食サービス業	174,013	82,832	47.6	62,599	20,834	33.3
生活関連サービス業,娯楽業	224,526	135,417	60.3	116,308	43,920	37.8
医療,福祉	246,886	168,508	68.3	254,062	224,966	88.5
サービス業(他に分類されないもの)	256,846	157,235	61.2	369,872	262,959	71.1

図IV-2 産業別・男女別定期給与額の比較（事業所規模1～4人：青森県）



3 労働時間と出勤日数

(1) 労働時間

一日の実労働時間数は、調査産業計では7.0時間、前年より0.1時間減となった(全国は6.9時間で前年より0.1時間減)。

産業別では、製造業、サービス業(他に分類されないもの)が7.5時間(全国はそれぞれ7.1時間、7.2時間)と最も長かったほか、次いで建設業が7.4時間(全国は7.5時間)と長かった。

また、宿泊業、飲食サービス業が5.2時間(全国5.8時間)と最も短かったほか、次いで、医療、福祉が6.7時間(全国6.7時間)と短かった。

(2) 出勤日数

出勤日数は、調査産業計では21.2日、前年より0.1日増となり、全国の19.8日より1.4日多かった。

産業別にみると、サービス業(他に分類されないもの)が23.3日(全国20.8日)と最も多かったほか、次いで製造業が22.9日(全国20.5日)と多かった。

また、宿泊業、飲食サービス業が19.0日(全国17.3日)と最も少なかったほか、医療、福祉が20.3日(全国は19.5日)と少なかった。

表IV-6 実労働時間数及び出勤日数の推移(事業所規模1～4人、調査産業計)

年	実労働時間数			出勤日数		
	青森県	全 国	青森-全国	青森県	全 国	青森-全国
	時間	時間	時間	日	日	日
平成23年	7.1	7.1	0.0	21.5	20.6	0.9
平成24年	7.3	7.1	0.2	21.8	20.6	1.2
平成25年	7.2	7.1	0.1	22.1	20.7	1.4
平成26年	7.1	7.1	0.0	21.9	20.7	1.2
平成27年	7.2	7.0	0.2	21.8	20.4	1.4
平成28年	7.1	7.0	0.1	21.1	20.2	0.9
平成29年	7.2	7.0	0.2	21.9	20.1	1.8
平成30年	7.1	7.0	0.1	21.1	19.9	1.2
令和元年	7.0	6.9	0.1	21.2	19.8	1.4

表IV-7 産業別実労働時間数及び出勤日数の全国対比(事業所規模1～4人)

区 分	実労働時間数			出勤日数		
	青森県	全 国	青森-全国	青森県	全 国	青森-全国
	時間	時間	時間	日	日	日
調 査 産 業 計	7.0	6.9	0.1	21.2	19.8	1.4
建 設 業	7.4	7.5	△ 0.1	22.7	21.7	1.0
製 造 業	7.5	7.1	0.4	22.9	20.5	2.4
卸 売 業 , 小 売 業	7.3	7.1	0.2	21.4	20.3	1.1
不 動 産 業 , 物 品 賃 貸 業	6.8	6.9	△ 0.1	21.9	19.8	2.1
学 術 研 究 , 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	7.2	7.1	0.1	20.4	19.5	0.9
宿 泊 業 , 飲 食 サ ー ビ ス 業	5.2	5.8	△ 0.6	19.0	17.3	1.7
生 活 関 連 サ ー ビ ス 業 , 娯 楽 業	7.0	6.9	0.1	22.1	19.5	2.6
医 療 , 福 祉	6.7	6.7	0.0	20.3	19.5	0.8
サ ー ビ ス 業 (他 に 分 類 さ れ な い も の)	7.5	7.2	0.3	23.3	20.8	2.5

4 常用労働者の動き

常用労働者数は、調査産業計では16,052人(男7,265人、女8,787人)で、前年(19,794人)より3,742人減となった。

産業別では、卸売業、小売業が5,144人(全産業に占める割合32.0%、全国25.4%)と最も多かったほか、次いで建設業が1,888人(同11.8%、全国10.6%)と多かった。

また、不動産業、物品賃貸業が479人(同3.0%、全国4.6%)と最も少なかったほか、次いで製造業が898人(同5.6%、全国7.3%)と少なかった。

男女別構成比をみると、男性の占める割合が最も高い産業は、建設業が79.2%(全国74.9%)で、次いでサービス業(他に分類されないもの)が62.1%(全国56.9%)と高かった。

また、女性の占める割合が最も高い産業は、医療、福祉が88.9%(全国85.6%)で、次いで宿泊業、飲食サービス業が85.2%(全国73.1%)と高かった。

表IV-8 常用労働者数の推移(事業所規模1～4人:青森県)

区分	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年
常用労働者数(人)	26,663	19,404	23,013	24,267	23,775	23,402	22,725	18,939	19,794	16,052
対前年増減数(人)	378	△ 7,259	3,609	1,254	△ 492	△ 373	△ 677	△ 3,786	855	△ 3,742
対前年増減率(%)	1.4	△ 27.2	18.6	5.4	△ 2.0	△ 1.6	△ 2.9	△ 16.7	4.5	△ 18.9

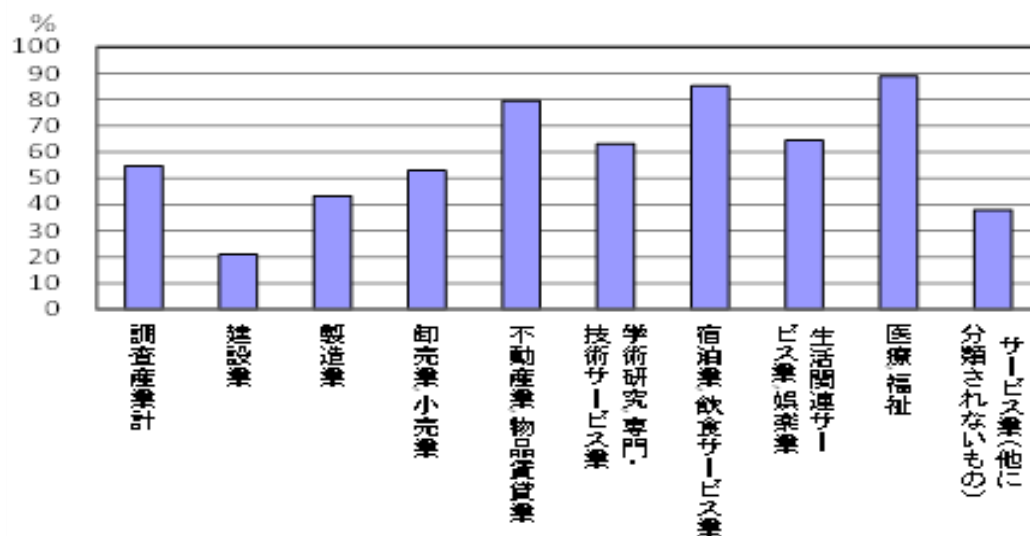
表IV-9 産業別・男女別常用労働者数及び産業別・男女別構成比(事業所規模1～4人:青森県)

区分	常用労働者数(人)			産業別構成比(%)			男女別構成比(%)	
	総数	男	女	総数	男	女	男	女
調査産業計	16,052	7,265	8,787	100.0	100.0	100.0	45.3	54.7
建設業	1,888	1,495	394	11.8	20.6	4.5	79.2	20.9
製造業	898	510	388	5.6	7.0	4.4	56.8	43.2
卸売業,小売業	5,144	2,417	2,727	32.0	33.3	31.0	47.0	53.0
不動産業,物品賃貸業	479	98	381	3.0	1.3	4.3	20.5	79.5
学術研究,専門・技術サービス業	1,221	450	771	7.6	6.2	8.8	36.9	63.1
宿泊業,飲食サービス業	1,411	209	1,202	8.8	2.9	13.7	14.8	85.2
生活関連サービス業,娯楽業	1,099	390	709	6.8	5.4	8.1	35.5	64.5
医療,福祉	1,393	155	1,238	8.7	2.1	14.1	11.1	88.9
サービス業(他に分類されないもの)	1,085	674	411	6.8	9.3	4.7	62.1	37.9

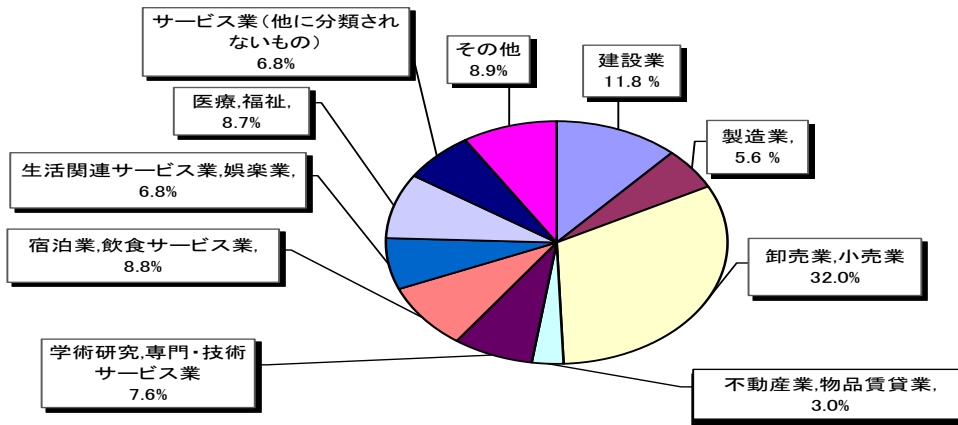
表IV-10 産業別・男女別常用労働者数及び産業別・男女別構成比(事業所規模1～4人:全国)

区分	常用労働者数(千人)			産業別構成比(%)			男女別構成比(%)	
	総数	男	女	総数	男	女	男	女
調査産業計	1,687	722	965	100.0	100.0	100.0	42.8	57.2
建設業	179	134	45	10.6	18.6	4.7	74.9	25.1
製造業	123	75	49	7.3	10.4	5.1	61.0	39.8
卸売業,小売業	428	185	242	25.4	25.6	25.1	43.2	56.5
不動産業,物品賃貸業	78	41	37	4.6	5.7	3.8	52.6	47.4
学術研究,専門・技術サービス業	114	44	70	6.8	6.1	7.3	38.6	61.4
宿泊業,飲食サービス業	167	45	122	9.9	6.2	12.6	26.9	73.1
生活関連サービス業,娯楽業	161	36	126	9.5	5.0	13.1	22.4	78.3
医療,福祉	167	25	143	9.9	3.5	14.8	15.0	85.6
サービス業(他に分類されないもの)	116	66	50	6.9	9.1	5.2	56.9	43.1

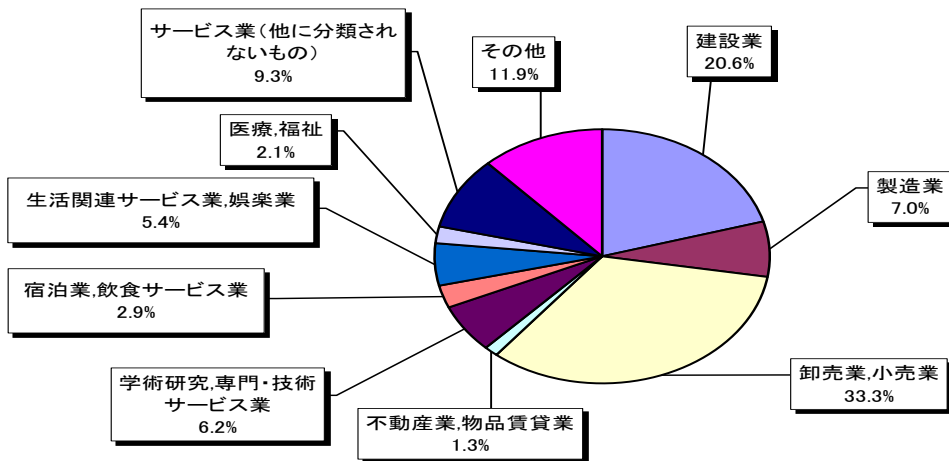
図IV-3 常用労働者の産業別女性の割合(事業所規模1～4人:青森県)



図IV-4 常用労働者の産業別構成比（総数）（事業所規模1～4人：青森県）



図IV-5 常用労働者の産業別構成比（男）（事業所規模1～4人：青森県）



図IV-6 常用労働者の産業別構成比（女）（事業所規模1～4人：青森県）

